

～分科会～

NO	分科会名	テーマ	分科会	分科会名	座長	助言者
A(施設ケア)	施設でその人らしい暮らしを支える	<p>ホームの中での生活の工夫や、認知症個別ケアへの取り組み実践を待ち寄りましょう。入居から看取りにわたるその人の人生を支えた実践や、最期まで食べる大切さを追求した実践事例をもちより学び合いましょ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その人のQOLから繋がるリハビリや外出支援などの取り組み</li> <li>・排泄ケアや入浴ケア、口腔ケアなどの工夫実践</li> <li>・認知症高齢者が安心して生活できる為の創意工夫の実践</li> <li>・認知症高齢者の尊厳を大切にしたいケアの取り組み</li> <li>・高齢者の「その人らしい暮らし」を支える取り組み</li> <li>・生活の延長にある看取りケアの実践</li> <li>・最期まで食べる事を大切にしたい取り組み実践</li> <li>・チームケア、多職種協働による食生活の取り組み</li> <li>・調理現場における個別対応実践</li> <li>・嚥下障害や食欲不振、認知症による摂取量低下等への栄養改善の取り組み</li> <li>・栄養ケアマネジメントの取り組み実践</li> <li>・調理の工夫、サービス機関との連携・地域資源の活用</li> </ul>	A-1(日常ケア)	豊かな日常を支える	<p>北海道 かりぶ、あつべつ 施設長</p> <p>田名部 みどり 新潟 しろかせ荘 施設長</p> <p>松井 裕 富山 しらいわ苑 生活課長</p> <p>岩河 さゆり 鳥根 ひまわり園 部長</p> <p>須田 英男 熊本 たくまの里 ※調整中</p> <p>大阪 いこのこの里 副施設長</p> <p>吉川 幸志 千葉 やわら木苑 菅 理栄養士</p> <p>高原 由香 広島 くすの木苑 ※調整中</p>	<p>※調整中</p> <p>岡山 けしこの里 施設長</p> <p>安東 しのぶ 岡山 (有)ワエルエイト 代表取締役</p> <p>荻野 金 愛知 ツルハーブケアかりや 施設長</p> <p>早川 昌宏 高根 長帝國 生活 相談員</p> <p>坂本 由美子 長野 ゆい 施設長</p> <p>鮎島 すづ江 岡山 健生園 栄養部 主任</p> <p>池太 玲子 東京 みやま大樹の苑 施設長</p> <p>稲垣 瑞恵</p>
B(医療)	施設・在宅の医療や健康管理を考える	<p>医療・健康管理をはじめとする様々な実践を持ち寄り学び合いましょ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設・在宅における医療と課題</li> <li>・医療ニーズへの対応と課題</li> <li>・皮膚ケアの充実 褥瘡予防</li> <li>・感染症予防対策</li> <li>・看取りケアの専門職としての実践</li> </ul>	B(医療)	医療・健康管理を考える	<p>大阪 槻ノ木 荘 施設長</p> <p>弟丸 孝子</p>	<p>岡山 さくら苑 看護師長</p> <p>草賀 文江</p>
C(在宅)	在宅生活を支える施設役割を考える	<p>在宅生活を支えるデイサービスやショートステイのあり方や役割、課題について議論し検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ショートステイならではの課題、難しさ、工夫した取り組み</li> <li>・ショートステイの受け入れ・医療依存度の高い利用者の受け入れについて</li> <li>・認知症高齢者のショートステイ</li> <li>・緊急ショート、虐待保護、多問題家族の対応支援</li> <li>・ショート中の洗濯、荷物点検、服薬の管理について</li> <li>・初回アセスメントとリスクの把握</li> <li>・在宅での医療処置の継続が必要な利用者への対応</li> <li>・ホームの社会的役割、デイサービスとの連携した取り組みや課題</li> <li>・デイサービスの役割、認知症高齢者、虐待保護、他問題家族の対応支援</li> </ul>	C-1(短期入所)	短期入所の取り組みを中心に	<p>京都 原谷こぶしの里 ※調整中</p> <p>兵庫 葦葉苑 施設長</p> <p>小林 浩司</p>	<p>千葉 やわら木苑 部長</p> <p>阿部 孝志</p> <p>福岡 いきいき八田 施設長</p> <p>山本 明美</p>
D(ケアハウス等)	有料ホーム・ケアハウス・高専賃など多様な住まいの機能と役割	<p>福祉施策の観点から厚生労働省が、また国土交通省が住宅施策の観点からと多様な住まいがつけられてきています。ケア付き住宅、有料老人ホーム(住宅型、介護付き)、高専賃、高専賃などこれらが「老後の住まい」の保障になりうるのか、どうすれば安心の住まい「終の棲家」になり得るのか、実践例を持ち寄り現状と課題を把握していきましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な住まいの機能と役割、運営の問題・課題</li> <li>・認知症ケア</li> <li>・重度化の対応</li> <li>・医療ニーズへの対応</li> </ul>	C-2(通所)	通所の取り組みを中心に	<p>岡山 つくしんぼ 主任</p> <p>杉本 裕美</p> <p>広島 ケアハウス福山 主任</p> <p>藤井 健</p> <p>鳥根 すずらん ※調整中</p>	<p>大阪 結いの里 副施設長</p> <p>阿部 裕一郎</p> <p>京都 原谷こぶしの里 ※調整中</p> <p>愛知 すこやか の里 施設長</p> <p>阿蘇 広志</p>

E(養護)	<p>新制度移行後のいろいろな影響や課題、利用者の重症化の中での対応等について論議しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自治体への働きかけ、低所得者・社会適応困難高齢者の実態</li> <li>養護老人ホームのあり方、事例交流</li> <li>「外部利用型」の導入など制度転換への実態と対応</li> <li>シヨートステイの取り組み</li> </ul>	E(養護)	<p>養護老人ホーム</p>	<p>大阪 城東養護老人ホーム 副施設長 横山 道夫</p>	岡山 会陽の里 施設長 藤岡 理恵
F(地域)	<p>地域で暮らし続ける</p>	F-1(訪問介護)	<p>ホームヘルプサービスを中心に</p>	<p>兵庫 あしや喜楽苑 施設長 田中 喜代子</p>	京都 こぶしの里 ※調整中
F(地域)	<p>地域で暮らし続ける</p>	F-2(グループホーム)	<p>グループホームケア</p>	<p>大阪 たんぽぽ ※調整中</p>	岡山 リ・ファインディサービスセンター 代表取締役 天納 久貴
F(地域)	<p>地域で暮らし続ける</p>	F-3(小規模多機能施設)	<p>小規模多機能施設</p>	<p>岡山 穂香の里小規模 居室主任 馬場 晴美</p>	長崎 戸町ふくし村 施設長 吉野 紀子
F(地域)	<p>地域で暮らし続ける</p>	F-4(介護支援専門員等)	<p>地域づくり、コミュニケーション、在宅介護で困難(重症化等)な事例の対応</p>	<p>島根 ひまわり園 在宅福祉部長 桑原 典子</p>	岡山 林道倫精神科 経科病院 地域医療部長 星 昌子

<p>G(安心・安全)</p>	<p>安心・安全な生活を送る。</p>	<p>安心できる生活、安全が確保される生活とは、日常生活のなかにもさまざまなリスクは存在します。リスクへの対応をどのようにとらえるかで、生活の有り様が変わることがあります。事故予防の取り組みや体制づくり、職員への教育や学習活動について、人員配置や環境整備などの取り組みについて持ち寄り議論しましょう。また、東日本大震災を経験し、そこから見えてきたものについても考えていきたいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束防止の取り組みと課題</li> <li>・虐待防止の取り組み</li> <li>・オンブズマンや第三者機関活動の実例</li> <li>・個人情報管理</li> <li>・その人らしさ、自由、プライバシーを守るケアの実践</li> <li>・事故防止の取り組みや体制、家族との連携・信頼づくり</li> <li>・ヒヤリ・ハットとを活かす</li> <li>・発生した事故から学んだこと</li> <li>・転倒防止の工夫</li> <li>・事故対策のマニュアルとその活かし方</li> <li>・東日本大震災を経験して</li> <li>・危機管理について</li> </ul>	<p>G(安心・安全)</p>	<p>安心・安全な生活</p>	<p>福島 おおつき ※調整中</p>
<p>H(職場作り)</p>	<p>誇りと自信を持ち働きがい、やりがいのある職場づくりを考える</p>	<p>自分自身が充実していなければ、他の誰かを援助することは難しくなることがあります。高齢者を介護する場合でも、職員が元気に取り組めることがその職場を盛り上げることになるでしょう。そのような職場づくりをどのように進めるか、取り組みの事例などを持ち寄り、課題や問題解決のヒントを考えましょう。仕事への誇り、取り組みでいる事への自信、働きがいのある、やりがいを持つ職場づくりについて話し合い、役立てるようにしましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新人職員の主張</li> <li>・中堅職員の悩み、役割と課題</li> <li>・自分の考えや意見を本音でぶつけあい、職場の問題に取り組んだ事例</li> <li>・組織の活性化につながる取り組み</li> <li>・職場のストレスマネジメントやメンタルヘルスについて</li> <li>・管理職や上司に言いたいこと、望むこと</li> <li>・研修制度や体制について、人材育成の工夫について、育成の悩みなど</li> <li>・チームワークや協力・連携への課題など</li> </ul>	<p>H(職場作り)</p>	<p>職場作り</p>	<p>滋賀 野洲慈恵会 理事長 市原 邦雄</p>
<p>I(介護者を支える)</p>	<p>家族介護者を支える</p>	<p>介護保険は「介護の社会化」をうたっていますが、依然として家族介護に頼る実情があります。在宅介護と施設介護の費用や介護負担の違いなど課題は山積していることに加え、在宅介護者の4人に1人はうつ傾向がみられる、心身疲労を抱えているなどの報告もあり、介護者支援は重要課題といえます。利用者を支えるために、利用者ご本人のみならず、家族等の介護者を対象とした援助技術や支援体制、介護者同士の支援等ネットワークの構築、地域のインフォーマルな共同組織などの取り組みや課題を持ち寄り考えていきたいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族会の現状と課題</li> <li>・家族とのケアパートナーシップ</li> <li>・家族等介護者への支援と課題</li> <li>・介護者のネットワークづくりの現状と課題</li> <li>・地域のインフォーマルな共同組織活動</li> </ul>	<p>I(介護者を支える)</p>	<p>家族介護者を支える</p>	<p>石川 なんぶやすらぎホーム 施設長 坂口 朋美</p>
<p>J(事務)</p>	<p>福祉施設における事務の役割を考える</p>	<p>事業の多様化、制度改定、厳しい経営環境のなか、「実務の要」としての役割がますます重要になっています。また、行政や地域との関係づくりの上でもその能力を求められています。事務の役割についての議論を深めましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉施設における事務部門の役割</li> <li>・事務・総務・総務業務の効率化、経営ニーズの活用・提言</li> <li>・事務部門からみた介護保険制度の問題</li> <li>・施設の民主的運営の課題、各種委員会の事務局など運営への参加</li> <li>・全職員参加の経営、処遇改善へ向けたとりくみなど</li> </ul>	<p>J(事務)</p>	<p>事務の役割を考える</p>	<p>岡山 もちどり(特養)・ケアハウスちどり 施設長 田邊 牧美</p>

## ～分科会演題募集～ !(^)!

昨年(2019年)の第11回職員研究交流集会は山形で開催され、東日本大震災・命の尊厳をテーマに約450名もの参加者が大いに学び、交流を深めました。2日目に行われた分科会では、各現場のテーマにあわせて25の分散会が開かれ、全国から149本もの実践報告が寄せられました。

日々一生懸命、高齢者に寄り添いながら、ゆたかな援助実践を積み重ねている全国の皆さん、日頃の地道な実践を岡山に持ち寄り、ともに学び、ともに育ちませんか?ぜひ、分科会一覧表(P5～7)をご参照の上、発表をご検討下さい。なお、発表いただける方は、「演題募集エントリー」用紙(P9)に必要事項をご記入の上、**8月31日(金)までに下記の提出先までFAXにてお送り下さい。**

## ～研究・実践報告の提出について～

当日配布の資料に掲載する原稿を下記のとおりご提出頂くようお願い申し上げます。なお、パワーポイント使用をされる場合には「パワーポイントを用いての発表についてのご願い」(P10)をご参照下さい。パワーポイント等の使用については、エントリーの時点で申し出があったものしか認められません。

### ☆ 発表原稿様式

**【原稿作成時】** ソフトはWORDを使用(2007以降のソフトで作成した場合は「2003形式で保存」を選択すること)。用紙サイズA4/余白:上下・左右とも20ミリ/横書き/1行45字/(概ね2～4枚程度)。本文の文字:MS明朝/フォントサイズは10.5。原稿本文にはタイトルを明記:下記例示のようにオートシェイプを使用し□□で囲む。<タイトルの文字>はMSゴシック/フォントサイズは、タイトル12、サブタイトルを付す場合はフォントサイズ9、その他は10.5。章立てをする場合には、章に1, 2, 3の数字、節に1), 2), 3)のように片)の数字、項に①, ②, ③の囲いのある数字を用い、本文との違いを明確にするためMSゴシックとする。(昨年、資料を参照して下さい)

タイトル○ <u>○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○</u> (フォントサイズ12)
ーサブタイトル○ <u>○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○</u> ー (フォントサイズ9)
都道府県 所属の施設種別名 施設名
職名 氏名 (道府県名以下フォントサイズ10.5)

○WORD ファイル名:【[分散会No.][県名][施設名][氏名]】(例) A-2 岡山 うらじゃ園 山本太郎

**【原稿送信時】** 下記「原稿提出先」の宛先を参照し、EメールにWORDファイルを添付して送信して下さい。その際、件名にはWORDファイル名同様、【[分科会No.][県名][施設名][氏名]】を明記して下さい。発表原稿に写真等を添付する場合、容量が大きいデータは別途記憶媒体に保存の上、郵送をお願いします。

**【その他】** 発表方法は資料集に掲載されたレジュメ等に基づいてお願いします。発表にあたって、利用者等の個人情報の取扱いについては、事業所の個人情報保護規定に従い、適正な対応をお願い致します。研究交流集會に参加できない方々とも実践交流を図る趣旨で、研究・実践報告(発表)された内容を情報交流誌「ぼとぼら」の特集記事として取り上げることもございますのでご承知下さい。

☆ **発表時間** 1 演題につき10分～20分程度(各分科会の演題数によって異なるためあくまで目安)

☆ **原稿締切** ○9月28日(金) 必着

☆ **原稿提出先** EメールにてWORDファイルを添付の上、下記へお送りください。

メールアドレス [kenseien@circus.ocn.ne.jp](mailto:kenseien@circus.ocn.ne.jp) 特別養護老人ホーム健生園(担当:森)

## ～分科会 演題発表のエントリー用紙～

### ☆ 発表エントリー

○共同研究（発表）をおこなう場合は、代表者のみ1名を下記＜発表者名＞に記入の上、＜発表内容＞に共同研究と明記して下さい。共同研究者の氏名記載は、発表原稿本文へお願いいたします。なお、集会当日に共同研究者とともに参加・発表する際は、参加申込用紙に備考欄にその旨記載して下さい。

○希望分科会を記載する際は、分散会番号も忘れずにご記入下さい。（例：A-2やG-3など）

○エントリー受付後、分科会によって演題数の大幅な差異が生じた場合は、実行委員会で演題数の調整を行います。希望する分科会から別の分科会へ移っていただくこともございますのであらかじめご了承下さい。

○パソコン持参の可否については、基本的には事務局で用意をしますが、可と返答があった場合に持参のお願いをさせて頂くことがあります。

施設名		施設住所	〒	
施設種別		TEL		
		FAX		
発表者名		職種		パソ コン 持参
				可・不可
第（    —  ） 希望分科会 (分散会番号も忘れ ず)	演題			
発表内容 (簡潔に)				

### ☆ 提出期限

○8月31日（金）必着

### ☆ 提出先・問い合わせ先

○**FAXにて**本用紙を下記までお送り下さい（表紙不要）。**FAX 086-943-3493**

○問い合わせ先

現地実行委員会事務局 特別養護老人ホーム健生園（担当：森）

TEL 086-943-1701      FAX 086-943-3493

メールアドレス [kenseien@circus.ocn.ne.jp](mailto:kenseien@circus.ocn.ne.jp)

## ～PowerPoint を用いての発表についてのお願い～

### 1. 使用機材について

発表に使用する機材はパソコン・プロジェクターとします。パソコン・プロジェクターおよび接続用ケーブルは主催者側で準備致します。（なお、「発表演題募集」応募の際、ノートパソコン持参可とお答えいただいた方には、事務局から個々にお問い合わせする場合がありますのでご了解ください）

### 2. データの事前提出について

あらかじめ、発表データを下記住所に送付いただくこととします。提出はCD-Rにてお願い致します（メール添付はご遠慮ください）。なお、提出の際にはパワーポイントのバージョンを必ずご明記下さい。また、動画の使用は不可です。

また作成の際には、MS明朝、MSゴシック等Windows添付の標準フォントで、写真等を用いる場合は、アクセサリのペイント等で表示される実寸サイズにあらかじめ小さくしたものをご使用いただきますようお願いいたします。

### 3. 発表について

発表時は、各分科会で使用するパソコンのデスクトップにパワーポイントのファイルをコピーしておきますが、操作は各自で責任を持っておこなって下さい。予め動作確認などは主催者側で実施し、トラブルのないように努めますが、基本的には各自で対応して頂く事となります。ご不明な点がございましたら、下記にご連絡をお願い致します。

### 4. 提出期限：11月22日（木）必着

### 5. 提出先：特別養護老人ホーム健生園（担当：森）

〒704-8105 岡山県岡山市東区吉原231 TEL086-943-1701

## ～各期日を守ってご提出下さい～

### 運営にご協力お願いします(。\_。)

○「演題募集のエントリー」〆切は、8月31日（金）です。

エントリー用紙に必要事項をご記入いただき、健生園（担当：森）までFAXで送信願います。

FAX番号：086-943-3493

○「発表原稿」の提出〆切は9月28日（金）です。

EメールにてWordファイルを添付の上、健生園（担当：森）までお送り下さい。

メールアドレス：[kenseien@circus.ocn.ne.jp](mailto:kenseien@circus.ocn.ne.jp)

○「PowerPointデータ」の提出〆切は11月22日（木）です。

データをCDにコピーの上、健生園（担当：森）までお送り下さい。

送付先：〒704-8105 岡山県岡山市東区吉原231